

# 保証書

## 持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
  - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
  - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
  - (二) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
  - (ホ) 本書のご提示がない場合
  - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
  - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
  - (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	Bluetoothアクティブスピーカーシステム			★お買い上げ日： 年 月 日
型番	ASP-W752Z	品番	03-0999	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	ふりがな ★お名前 様			
	★ご住所 〒 一  電話 ( )			
修理メモ				
販売店	★住所 店名 電話			
	印			

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

○HNA 株式会社 オーム電機  
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8  
<https://www.ohm-electric.co.jp>

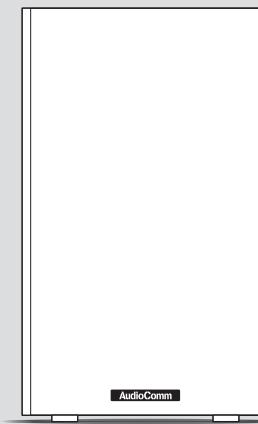
製品に関するお問い合わせは	お客様相談室へ
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-993-006	048-992-2735
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は	修理ご相談センターへ
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

AudioComm®

# 保証書付 取扱説明書

## Bluetoothアクティブスピーカーシステム

型番：ASP-W752Z 品番：03-0999



このたびは、AudioComm® Bluetooth アクティブスピーカーシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、

ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。

なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

## 目次

免責事項	1	有線(外部音声入力)で音楽などを楽しむ	8
安全上のご注意	1~3	故障かなと思ったら	9
Bluetoothについて	3~4	主な仕様	9
各部の名称	5	お手入れのしかた	10
左右スピーカーの接続方法	5	保証書とアフターサービスについて	10
電源(ACアダプター)の接続方法	6	保証書	裏表紙
Bluetoothで音楽を聞く	6~7		

## 免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

## 安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

### 絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

### 絵表示の使用例



△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。  
左図の場合は「感電注意」が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。  
左図の場合は「分解禁止」が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。  
左図の場合は「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。

## 警告

22cm以上離す	<p>心臓ベースメーカーを使っているときは装着部位から22cm以上離す        ●電波によりベースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。</p>		<p>分解、修理、改造しない        ●火災・感電の原因となります。</p>
コンセントから抜く	<p>万一、煙が出ていたり、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに本機の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜く        ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。        ●煙が出なくなるのを確認して、販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。</p>		<p>浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない        ●感電や故障の原因となります。</p>
	<p>万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止し、ACアダプターをコンセントから抜く        ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。        ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。</p>		<p>医療機器の近くで使わない        ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。</p>
			<p>表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない        ●火災・感電の原因となります。</p>
			<p>自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない        ●火災の原因となります。</p>
			<p>狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本機やACアダプターを新聞紙やテーブルクロス、カーテン、布団、敷物などで覆わない        ●熱がこもって変形したり、火災の原因になることがあります。</p>
			<p>本機やACアダプターの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない        ●コードが傷つき、火災・感電の原因となります。</p>
			<p>本機の上に花瓶などの水が入ったものを置かない        ●火災・感電の原因となります。</p>
			<p>本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない</p>
			<p>ACアダプターを傷つけたり、加工したり、コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない        ●破損して火災・感電の原因となります。</p>

## 注意

コンセントから抜く	<p>お手入れの際や移動させるときはACアダプターをコンセントから抜く        ●火災・感電の原因となることがあります。</p>	コンセントから抜く	<p>長期間本機を使わないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く        ●火災の原因となることがあります。</p>
-----------	---	-----------	---

## ⚠ 注意

	<b>ぬれた手で操作しない</b> ●感電の原因となることがあります。		<b>暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のある場所に置かない</b> ●破損・故障の原因となります。
	<b>ACアダプターとコンセントの接続部を定期的に掃除する</b> ●ACアダプターとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。		<b>シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない</b> ●変形・変色の原因となります。
	<b>大音量で聴き続けない。また、電源を切る前に音量を抑える</b> ●大音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。 ●大音量のまま電源を切ると、次に電源を入れたとき、突然大きな音が出て、聴力に悪い影響を及ぼすことがあります。		<b>ほこりの多い場所に置かない</b> ●火災・感電の原因となることがあります。
	<b>自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない</b> ●電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。		<b>ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない</b> ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグ部を持って抜いてください。
	<b>ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない</b> ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。		<b>窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない</b> ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

## Bluetoothについて

### Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行う無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、本機の場合、近距離(最大約10m以内)であれば、どこにいても無線通信により音楽を楽しむことができます。

### Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本機は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本機のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

※Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本機の性能・機能が制限される場合があります。

**【対応バージョン】** Bluetooth標準規格 Ver.5.0+EDR

**【対応プロファイル】** A2DP(高音質な音楽コンテンツを受送信するためのプロファイル)

AVRCP(再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル)

※本機はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証したものではありません。

### 通信可能範囲について

本機の通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

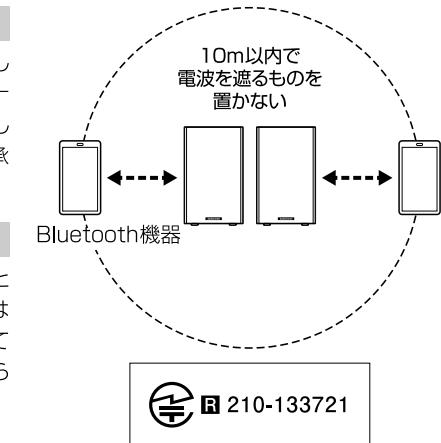
## セキュリティについて

本機はBluetooth通信時のセキュリティとして、標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

### 本機の機器認定について

本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けているので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼つてある定格銘板を消したりはがしたりする行為は、法律により罰せられることがあります。

本製品は日本国内でのみ使用できます。



### 使用周波数と注意事項

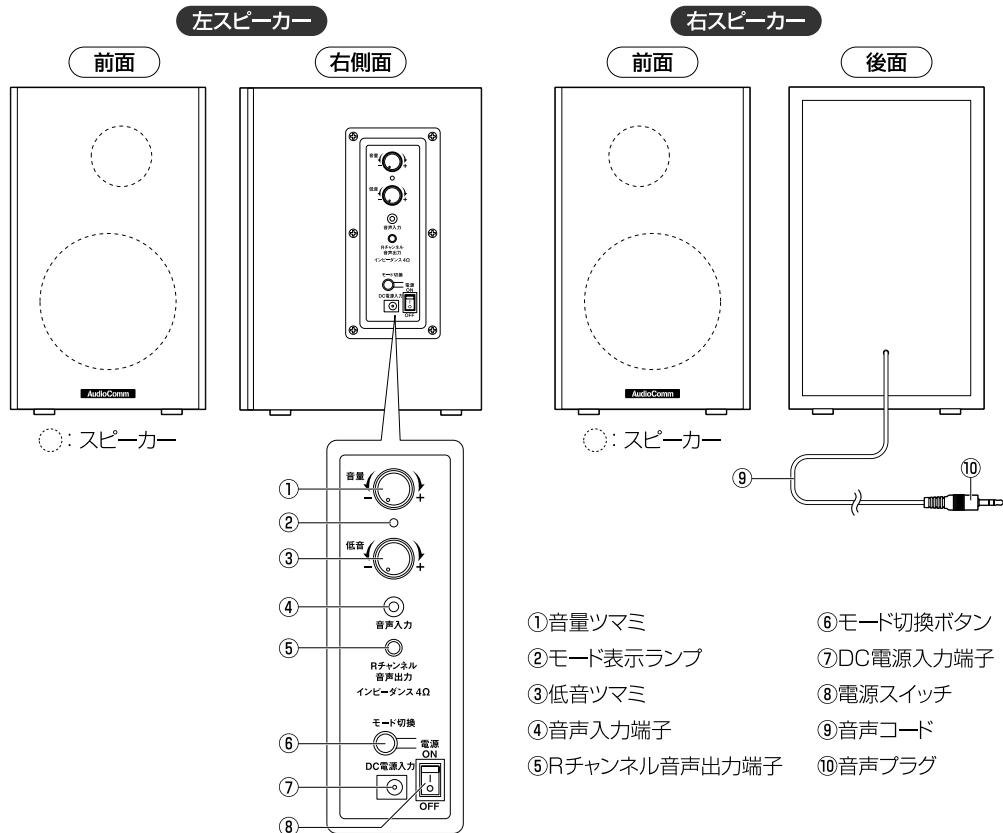
本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていることを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(裏表紙)にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室(裏表紙)までお問い合わせください。

### 医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

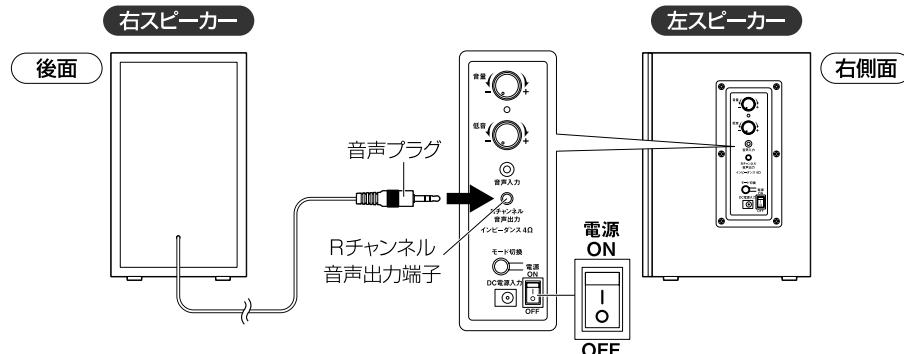
- 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
- 病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えること、事故の原因となります。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があるので、ご使用の際は十分にご注意ください。
- 医療機関内では次のことを守ってください。
  - ・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
  - ・病棟内では本機を使わない。
  - ・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
  - ・その他、医療機関による使用制限や使用禁止指示は必ず守る。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などの療養中の場合は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

## 各部の名称



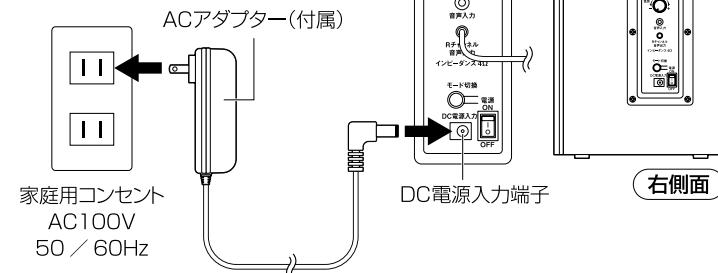
## 左右スピーカーの接続方法

本機の電源スイッチが「OFF」であることを確認し、右スピーカー（後面）の音声プラグを、左スピーカー（右側面）のRチャンネル音声出力端子につないでください。



## 電源(ACアダプター)の接続方法

本機の電源スイッチが「OFF」であることを確認し、付属のACアダプターを使って、本機のDC IN端子と家庭用コンセントをつないでください。  
ACアダプターを抜くときも、事前に必ず本機の電源を切ってください。



**ご注意** 付属のACアダプターは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属のACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

## Bluetoothで音楽を聴く

はじめて使うとき、以下の手順で必ずペアリングを行なってください。

- ペアリングとは、本機をBluetooth機器（スマートフォンやBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど）に初期登録する操作のことです。
- Bluetooth機器が他の機器とBluetooth接続しているときは、本機とのペアリングができないことがあります。事前に必ず他機との接続を解除してください。

**1** 本機とBluetooth機器を1m以内の距離に近づけ、双方の電源を入れます。

- 両機器の間には障害物を置かないでください。
- 双方の音量設定はどちらも低めにしてください。大きいまま接続すると、突然大きな音が出るおそれがあります。

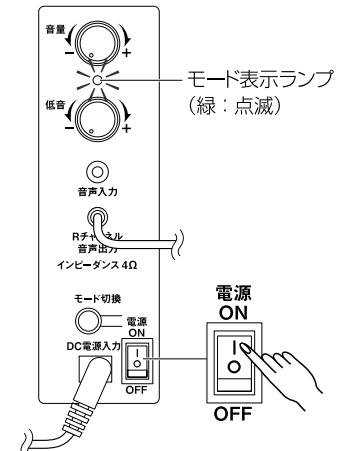
**2** 必要に応じてモード切換ボタンを押し、Bluetoothモードを選びます。

- モード表示ランプで、選択中のモードを確認できます。

緑：Bluetoothモード

赤：外部音声入力モード

- Bluetoothモードを選んだ後、モード表示ランプ（緑）が点滅していることを確認してください。点滅しているときは、接続可能な機器を探していることを示しています（サーチモード）。



## Bluetoothで音楽を聴く(つづき)

### ③ Bluetooth機器側で、本機を登録してください。

#### Bluetoothの設定画面を開く

iPhone : [設定]→[Bluetooth]

Android :

[設定]→[その他の設定]→[Bluetooth]  
[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

NTT docomo : [アプリ]→[設定]→[Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。  
各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

#### 本機を登録する

本機の名称「ASP-W752Z」が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。※機器によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

#### 本機とのペアリングが完了すると

電子音が鳴った後、モード表示ランプ(緑)の点滅が点灯に変わります。

本機の音量調節以外の操作は、すべてBluetooth機器側で行なってください。

#### ヒントとご注意

##### ●音量及び低音の調節について：

- 本機及びBluetooth機器の音量を少しずつ上げて、適切な音量にしてください。本機またはBluetooth機器の音量バランスが偏りすぎると、音割れやノイズの原因となります。また、本機の音量設定が大きすぎると、モードを切り換えたときに思わぬ大音量になることがあります。
- 低音ツマミを操作することで、低音を強調したり、抑えたりすることができます。
- 大音量で聞き続けないでください。周囲の迷惑になるだけでなく、聴力に悪い影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。

##### ●対応プロファイルについて：

本機はBluetooth Ver5.0+EDR(プロファイル：A2DP、AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択をする必要がある機種もあります。その場合は、上記のプロファイルを選択してください。それ以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。

##### ●2回目以降の接続について：

一度ペアリングすると、相手側機器のBluetooth機能が有効などときは、本機の電源を入れ、Bluetoothモードにするだけで、自動接続されます。ただし、機器によっては自動接続しない場合があります。そのときは、Bluetooth機器に付属する取扱説明書などを参照し、その都度手動で接続してください。

##### ●ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは：

- 本機の電源を切り、しばらくしてから入れ直してください。
- 相手側機器のBluetooth設定画面を開き、本機との接続を確認してください(接続中の状態にあるときは、いったん解除した後、もう一度接続してください)。
- 上記を試しても正常に戻らない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、改めてペアリングし直してください。

##### ●終了するときは：必ず本機の音量を絞ってから、電源を切ってください。

## 有線(外部音声入力)で音楽などを楽しむ

### ① 下図を参照して、音源となる機器(音源機器)と接続します。

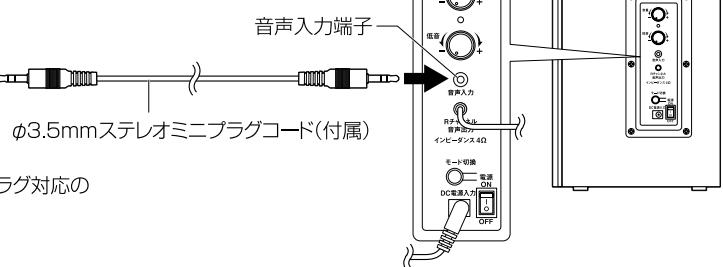
- P.5~6を参照して、事前に左右スピーカーをつなぎ、家庭用コンセントと接続してください。
- 必ず本機及び音源機器の電源が切れた状態で接続してください。

左スピーカー(右側面)

#### 音源機器

パソコン  
CDプレーヤー  
テレビなど

φ3.5mmステレオミニプラグ対応の  
ヘッドホン端子につなぐ



### ② 本機及び音源機器の音量を絞り、双方の電源を入れます。

- 本機の音量設定が大きいまま接続すると、電源を入れたときに、突然大きな音が出るおそれがありますのでご注意ください。

### ③ 必要に応じてモード切換ボタンを押し、外部音声入力モードを選びます。

- モード表示ランプで、選択中のモードを確認できます。
- 緑(点灯または点滅)：Bluetoothモード
- 赤(点灯)：外部音声入力モード
- 有線での接続時は、外部音声入力モードにしてください。

### ④ 音源機器側で再生などの操作をします。

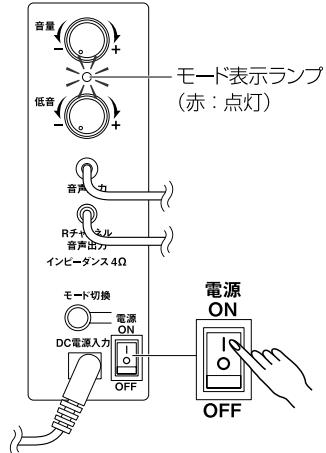
- 本機の音量調節以外の操作は、すべて音源機器側で行なってください。

### ⑤ 音量を調節します。

- 本機、音源機器双方の音量を少しずつ上げて、適切な音量にしてください。本機または音源機器の音量バランスが偏りすぎると、音割れやノイズの原因となります。また、本機の音量設定が大きすぎると、モードを切り換えたときに思わぬ大音量になることがあります。
- 低音ツマミを操作することで、低音を強調したり、抑えたりすることができます。
- 大音量で聞き続けないでください。周囲の迷惑になるだけでなく、聴力に悪い影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。

### ⑥ 終了するときは、本機及び音源機器の音量を絞り、再生を停止した状態で双方の電源を切ります。

- 各種コードを取り外すときは、必ず事前に双方の電源を切ってください。



## 故障かなと思ったら

症状	チェック項目
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>●ACアダプターは正しく接続されていますか(外れかけていませんか)。</li><li>●付属のACアダプターではないアダプターを使っていませんか。</li><li>●電源スイッチはONになっていますか。</li></ul>
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>●本機または接続機器(Bluetooth機器や音源機器)の音量が最小になっていますか。</li><li>●【Bluetooth接続時】ペアリングは正しく行なっていませんか。</li><li>●【Bluetooth接続時】Bluetooth機器の設定は正しくなっていますか。</li><li>●【Bluetooth接続時】Bluetooth機器との接続が解除されていますか。</li><li>●【Bluetooth接続時】外部音声入力モードになっていますか。</li><li>●【外部音声入力時】Φ3.5mmステレオミニプラグコードは音声入力端子に正しく接続されていますか(Rチャンネル音声出力端子につないでいたり、プラグが外れかけていませんか)。</li><li>●【外部音声入力時】Bluetoothモードになっていますか。</li><li>●【外部音声入力時】音源となる機器の電源は入っていますか。また、機器によっては音声出力先の切換が必要な場合があります。機器に付属する取扱説明書などでご確認ください。</li></ul>
Bluetooth接続時に音が途切れる	<ul style="list-style-type: none"><li>●本機とBluetooth機器が10m以上離れていませんか。</li><li>●本機とBluetooth機器の間に遮蔽物がありませんか。</li><li>●周囲で無線LAN機器や電子レンジなどの電波を発する機器、Bluetooth対応のマウスやキーボードを使用していませんか。</li><li>●周囲に無線機を使う施設や放送局はありませんか。</li></ul>
音質がおかしい	<ul style="list-style-type: none"><li>●低音ツマミで音質を変えていますか。</li></ul>

## 主な仕様

電源	本機：DC18V 2500mA (専用ACアダプター付属)	※Bluetoothの最大通信距離は目安であり、使用状況により異なります。
定格消費電力	約12.5W	※Bluetooth及びBluetoothロゴは米国Bluetooth SIG, Inc.の商標で、当社はライセンスに基づき使用しています。
実用最大出力	30W(15W+15W)	※本書に記載している商品名、システム名、社名などは、一般に各社の商標または登録商標です。
スピーカー	口径：ウーファー約115mm／ツイーター約74mm(1個) インピーダンス：4Ω	※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
再生周波数帯域	60Hz～18kHz	※本製品は、特定無線設備として日本国電波法第38条の24第1項の規定に基づく認証を受けています。
Bluetooth通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.5.0+EDR プロファイル：A2DP, AVRCP 出力：Class2 最大通信距離：見通し約10m 対応コーデック：SBC	※本書の図版は実際の製品と一部異なる場合があります。
入力端子	Φ3.5mmステレオミニジャック	
許容動作温度／湿度	温度：0～45°C 湿度：20～80%(結露なしにて)	
外形寸法	スピーカー1個あたり：幅146×高さ243×奥行180mm (突起物含まず)	
質量	約3.5kg(左右のスピーカーと接続コードを含む)	
付属品	専用ACアダプター、Φ3.5mmステレオミニプラグコード、 保証書付取扱説明書	

## お手入れのしかた

本機の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、  
アルコールなどは  
使用しない

## 保証書とアフターサービスについて

### 保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

### アフターサービスについて

#### ●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

#### ●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

#### ●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。